

令和4年7月21日

新グランドデザインの決定について

会長 勝野 哲

令和4年5月20日より6月20日に実施しました、新グランドデザイン案に対するパブリックコメントにご協力をいただき、誠にありがとうございました。パブリックコメントの結果を踏まえ、令和4年度第2回の理事会におきまして、新グランドデザインを決定いたしましたので、以下の通りご報告いたします。

パブリックコメントでは、あるべき姿、長期戦略とも全ての設問で「とても重要である」が最多となる等、ご回答いただいた方から広く賛同を得ることができたものと評価しています。今回、グランドデザイン案に対して、個別いただいたご意見を踏まえ、一部修正したものを、新グランドデザインの最終版として決定いたしました。

パブリックコメントでは、新グランドデザインをブレイクダウンして、具体的なアクションとしての活動を期待する声が多く寄せられました。その中には、具体的活動のアイデア等、今後の取り組み計画の検討に資する貴重なご意見もいただくことができました。

今後、パブリックコメントでいただいたご意見も踏まえつつ、本部・部門・支部等の各事業体毎に、新グランドデザインに沿った形で、中期的な取り組み計画を検討し、具体的な活動として展開してまいります。

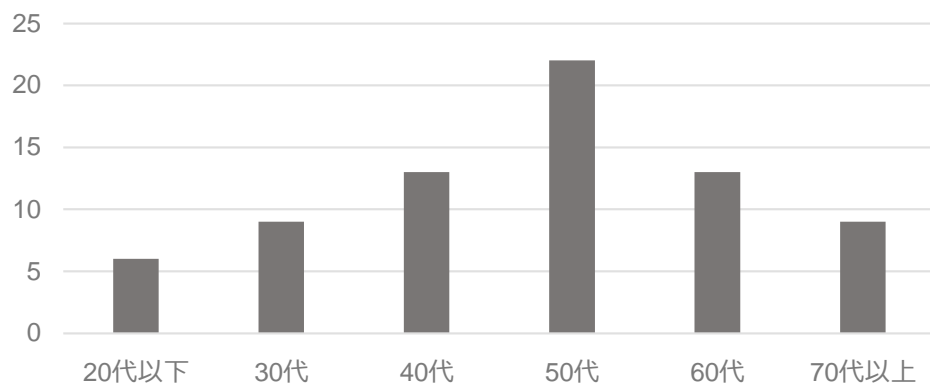
実施期間 2022年5月20日～6月20日 回答数 72件

01 パブリックコメント集約結果

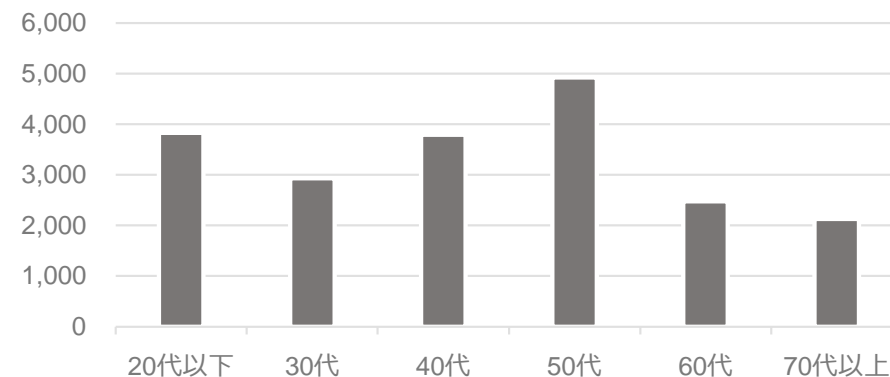
回答者属性

■ 5月20日～6月20日のパブリックコメントにて、72人より回答を得た（回答率：0.4%）。

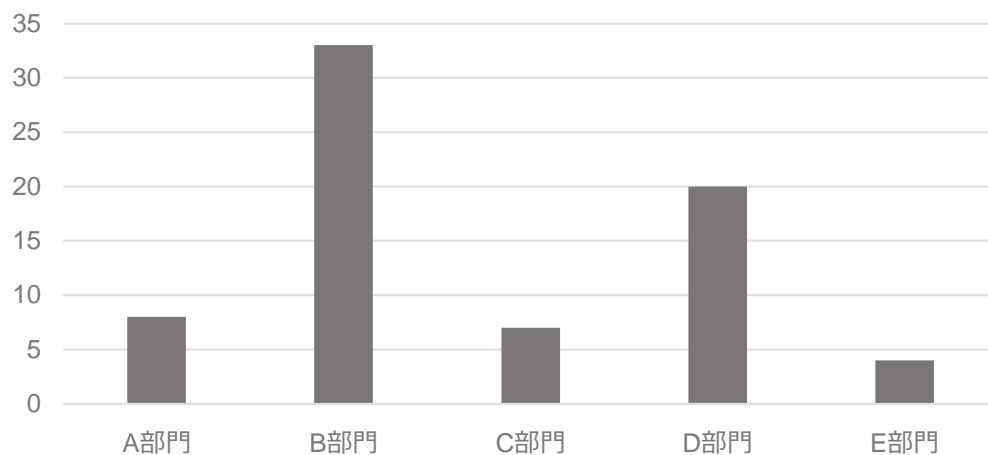
回答者の年代内訳



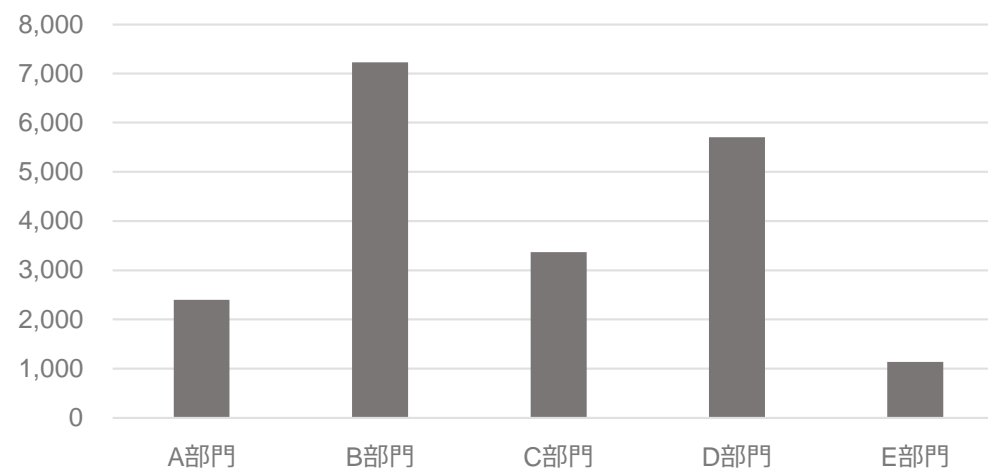
(参考) 令和元年末会員構成



回答者の所属部門内訳

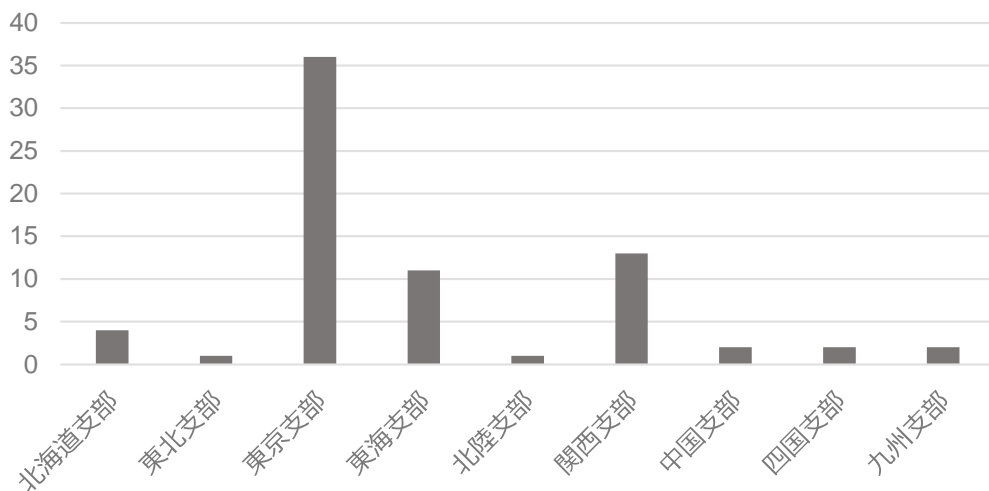


(参考) 令和元年末会員構成

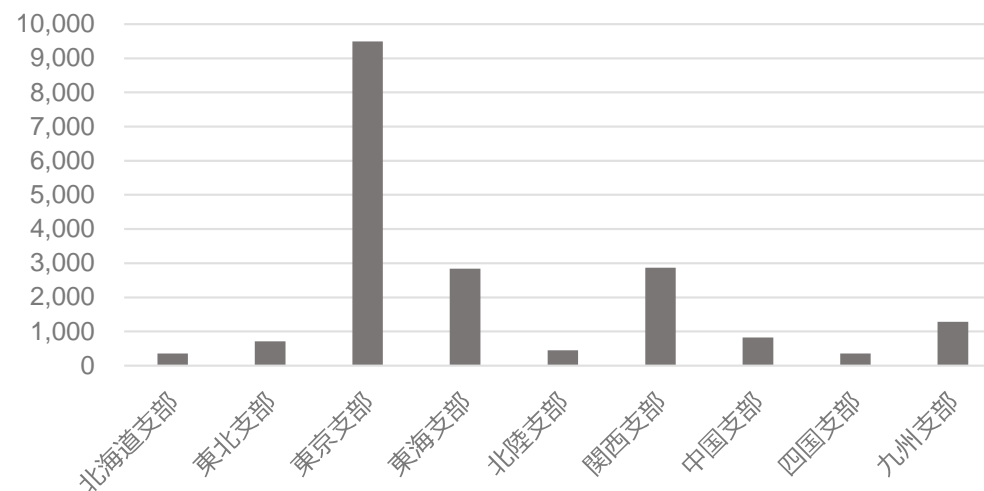


回答者属性

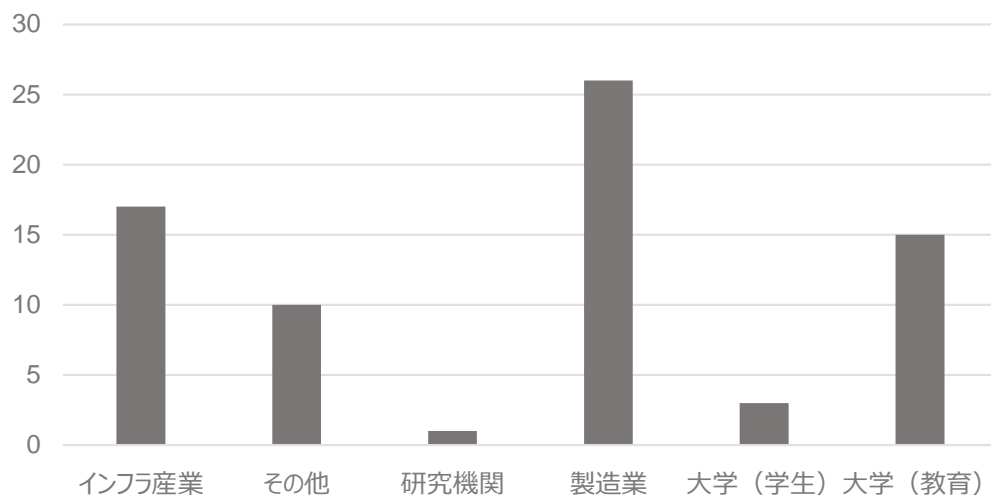
回答者の所属支部



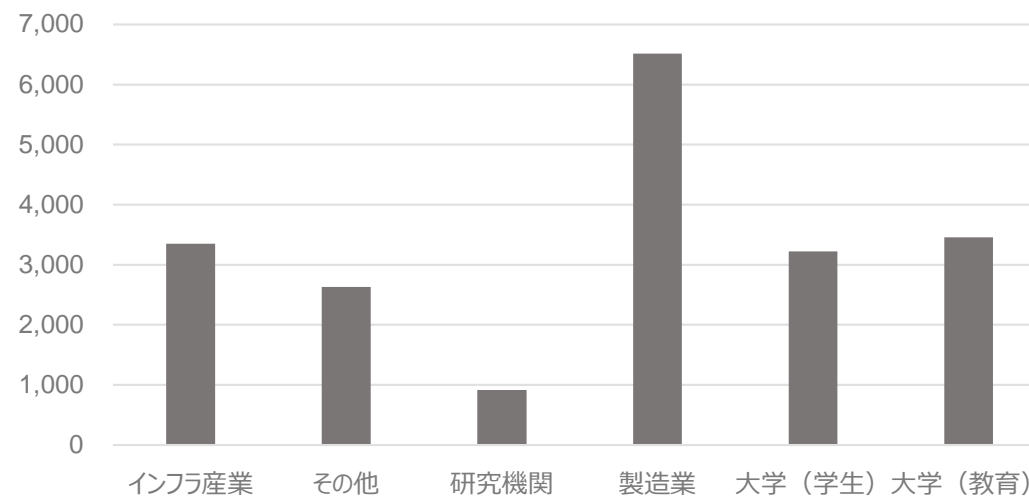
(参考) 令和元年末会員構成



回答者の所属組織

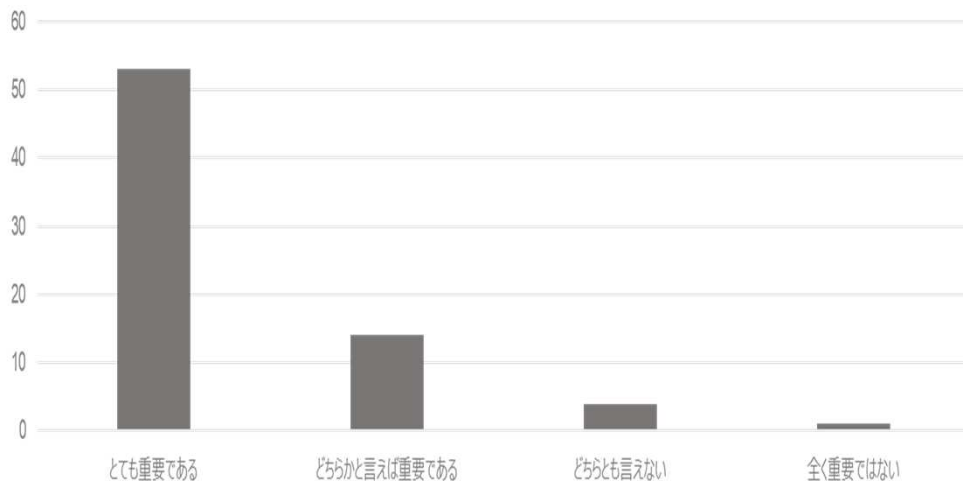


(参考) 令和元年末会員構成

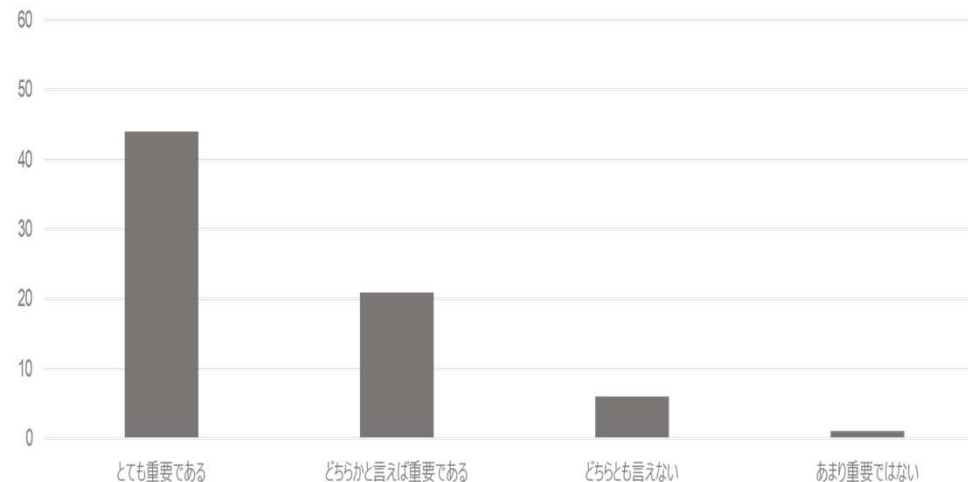


設問回答（あるべき姿）

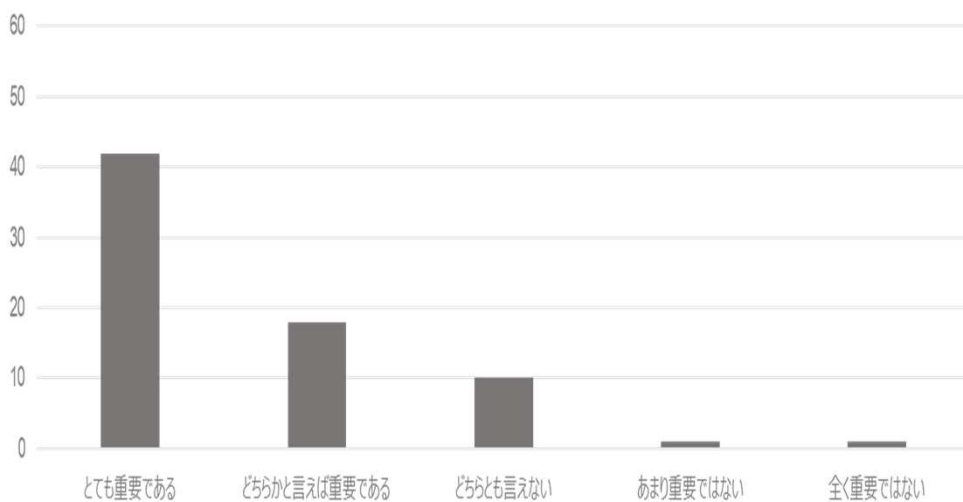
■ 協創を生み出す「場」の提供は重要だと思われますか？



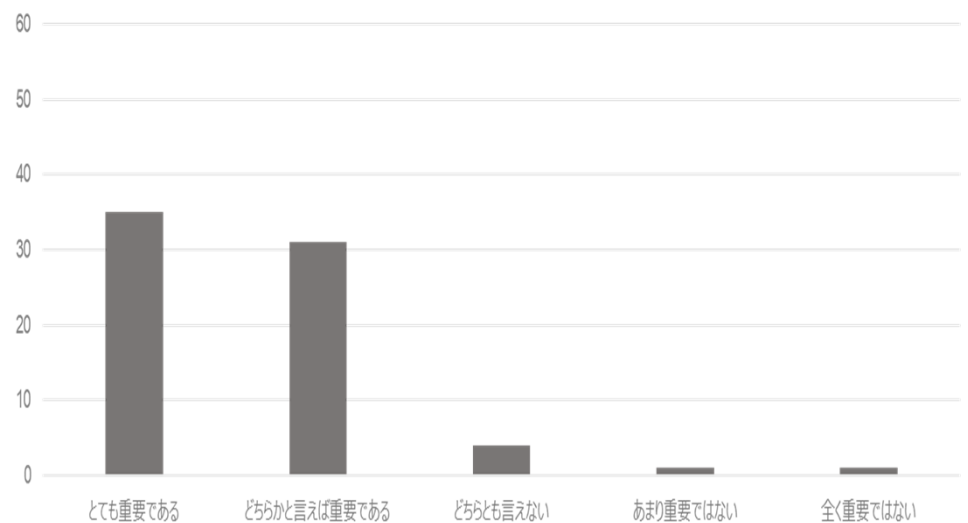
■ 会員サービスの向上について



■ 一般社会との連携，情報発信について

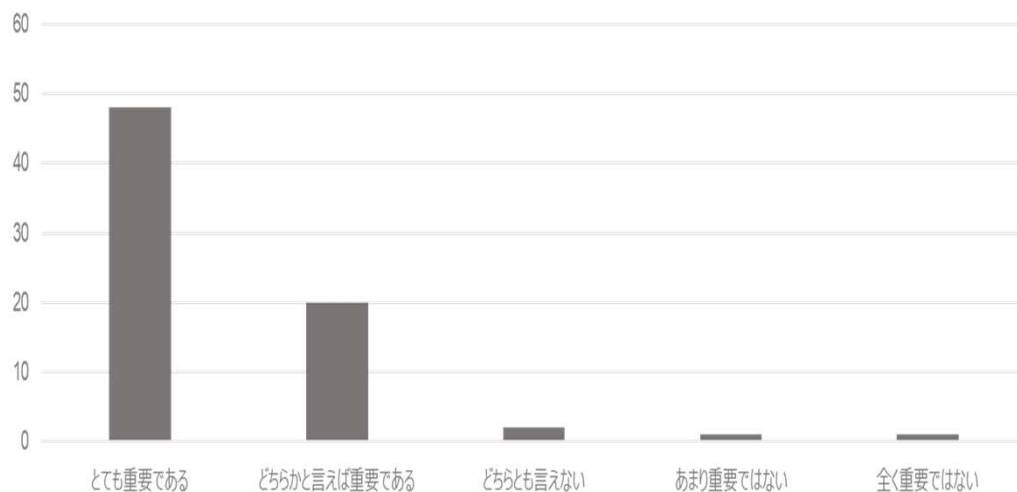


■ 学会のDX推進について

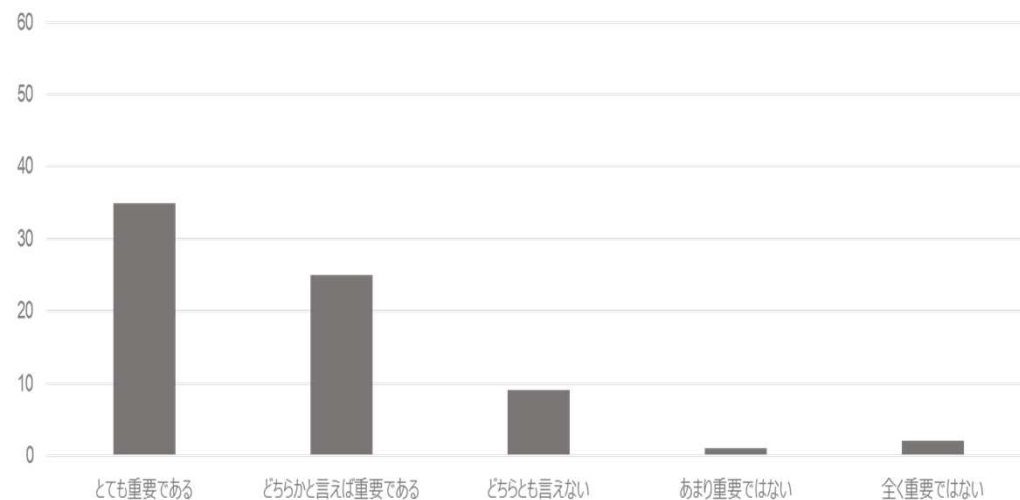


設問回答（長期戦略）

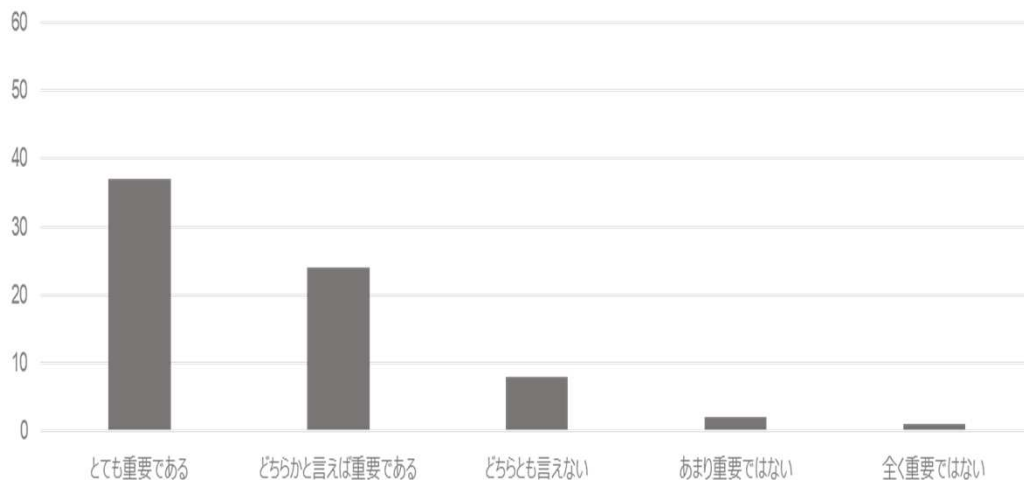
■ 長期戦略①：『場』の活性化・魅力向上は重要だと思いますか？



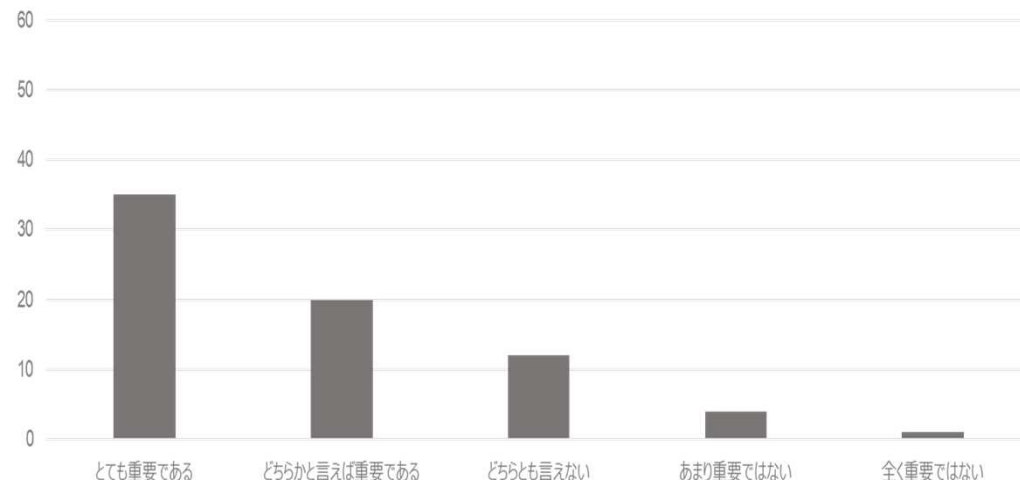
■ 長期戦略②：『場』の拡大・融合は重要だと思いますか？



■ 長期戦略③：効果的な社会連携活動の推進は重要だと思いますか？



■ 長期戦略④：学会運営の合理化は重要だと思いますか？



自由記述コメント

- グランドデザイン案に対して、個別にいただいた29件の意見対し、長期戦略①～④のいずれに関連したものであるかを、肯定的意見・否定的意見に分類したうえで集計した。

【集計作業における留意点】

- 長期戦略①～④のいずれにも属さない意見はカウント対象外とした
(例：会費を下げてほしい、グランドデザイン見直し自体が不要 等)
- 1件に複数の主旨が含まれている意見は、それぞれを長期戦略①～④にカウントした。

集計結果	肯定的意見	否定的意見
長期戦略①：『場』の活性化・魅力向上	12意見	—
長期戦略②：『場』の拡大・融合	6意見	—
長期戦略③：効果的な社会連携活動の推進	5意見	—
長期戦略④：学会運営の合理化	—	—



【自由記述コメントのまとめ】

- 長期戦略①に関連する意見が最多となった。具体的には、産学連携としての場の充実、DX推進、具体的会員サービスのアイデア等であり、中期アクションプラン検討に資する意見が多かった。通常、会員として期待するサービスは長期戦略①に含まれることが多く、意見が集中したものと想定される。
- 長期戦略④に関連する意見は存在しなかった。ただし、電気学会の長期的な発展を考えるうえでは、重要な戦略であり、軽視することはできないと考えられる。
- 各長期戦略に関連する意見の中には、否定的意見が存在しなかった。

02 新グラウンドデザイン修正内容

新グランドデザイン案に対する個別ご意見の反映

- グランドデザイン案に対して、個別にいただいたご意見を踏まえ、新グランドデザイン案を修正しました。

いただいたご意見	ご意見を踏まえた対応
<p>電気学会は、「電気工学の専門家が最先端かつ高度な研究シーズやニーズを交換する日本最大の場」とある。それらの内容を拝見すると、電気工学に特化した学会という印象しかない。例えば、C部門などは不要と言っているように見える。これでは、近年の日本に不足する先端IT関係の教育・研究や、関連する人間は他学会に行って活動せよと言っているようにしか見えない。</p>	<p>電気学会に所属する会員全体を「電気工学の専門家」と表現していたが、ご意見のとおり、読み手によっては、誤ったメッセージに捉えられる可能性があることから、「電気工学」を、「電気に関する」（定款第3条に定める表現）に修正する。</p>

社会

電気学会

一般社会との連携、 情報発信

教育機関
親・子供

メディア
SNS

連携

情報
発信

<目指す社会>

“豊かで安全安心な社会”、“持続的発展が可能な社会”

- クリーンな「電気」が安定的に供給（カーボンニュートラルの実現）
- 社会の基盤として、「電気」があらゆるシーンで安全・快適に利活用

目指す社会の実現に貢献

社会との
協創

<産・学・官>



国
提言

協創を生み出す
「場」の提供

<学会活動>

知識意見の交換調整、情報提供等を行う場の提供

(研究成果発表・共有、研究調査活動、国際化活動等)

共通活動基盤・・・大会・イベント等活動支援、情報共有支援

学会の
DX
推進

会員情報DB
(スキル、活動履歴)

コンテンツDB
(セミナー、教育・啓発)

<会員向けサービス>

コミュニティ・交流

技術者教育

情報発信

出版

表彰

「場」の
連携・融合

他分野の学会

他の工学分野
人文・社会科学分野
など

海外の学会

IEEE、CIGRE
アジア各国の学会
など

学会活動への参加・貢献

利便性の高いサービス
魅力的な場を提供



会員同士の繋がり



会員同士の繋がり



会員同士の繋がり



<学会員>

- ◆ 電気学会のプレゼンス向上
- ◆ 電気に関わる人材の育成
(将来の学会員増)

電気工学のプロフェッショナル・コミュニティ
としてのプレゼンスを向上

- ◆ サービス利用、学会活動を通じて成長を実感
- ◆ 多様なメンバーとの接点を得る
(アカデミア～産業界、様々な専門分野)

社会

電気学会

一般社会との連携、 情報発信

教育機関
親・子供

メディア
SNS

連携

情報
発信

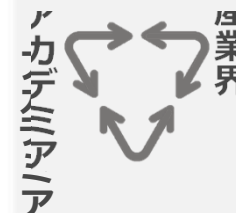
<目指す社会>

“豊かで安全安心な社会”、“持続的発展が可能な社会”

- クリーンな「電気」が安定的に供給（カーボンニュートラルの実現）
- 社会の基盤として、「電気」があらゆるシーンで安全・快適に利活用

社会との
協創

<産・学・官>



国
提言

目指す社会の実現に貢献

協創を生み出す
「場」の提供

<学会活動>

知識意見の交換調整、情報提供等を行う場の提供

(研究成果発表・共有、研究調査活動、国際化活動等)

共通活動基盤・・・大会・イベント等活動支援、情報共有支援

学会の
DX
推進

会員情報DB
(スキル、活動履歴)

コンテンツDB
(セミナー、教育・啓発)

<会員向けサービス>

コミュニティ・交流

技術者教育

情報発信

出版

表彰・・・

「場」の
連携・融合

他分野の学会

他の工学分野
人文・社会科学分野
など

海外の学会

IEEE、CIGRE
アジア各国の学会
など

学会活動への参加・貢献

利便性の高いサービス
魅力的な場を提供

- ◆ 電気学会のプレゼンス向上
- ◆ 電気に関わる人材の育成
(将来の学会員増)



★ 電気に関するプロフェッショナル・コミュニティ
としてのプレゼンスを向上

<学会員>

- ◆ サービス利用、学会活動を通じて成長を実感
- ◆ 多様なメンバーとの接点を得る
(アカデミア～産業界、様々な専門分野)

長期戦略①：『場』の魅力向上・活性化

- 少しの工夫の積み重ねによる『場』のブラッシュアップ
- オンライン上の『場』の利便性向上と充実

【解説】

- 電気学会は、「電気工学の専門家が最先端かつ高度な研究シーズやニーズを交換する日本最大の場」。この唯一無二の価値を高め、更なる魅力的な『場』へと進化。『場』の活性化により、学会活動への参加を通じた学会員の成長にも貢献。
- 『場』の魅力向上・活性化は一朝一夕には成しえない。
 - 本部・部門・支部が電気学会ならではの価値を高める少しの工夫を積み重ね、『場』をブラッシュアップ。
- 『場』の魅力向上・活性化には、学会員ニーズへの対応が必要。部門・支部等へのヒアリングや学会員アンケート等から、学会サービスのDXニーズの高さを把握。
 - オンライン上の利便性向上やコンテンツ充実による『場』の魅力向上・活性化を推進。



【本部中期アクションプラン例】

- 論文のバックデータを共有する仕組みの構築
- マイページのコンテンツ充実・操作性向上
- オンライン交流基盤の構築

【部門・支部中期アクションプラン例】

- 支部大会における会員交流機会の増加
- 若手社会人限定のオンライン座談会

【参考】長期戦略①：『場』の魅力向上・活性化



長期戦略①：『場』の魅力向上・活性化

- 少しの工夫の積み重ねによる『場』のブラッシュアップ
- オンライン上の『場』の利便性向上と充実

【解説】

- 電気学会は、「電気に関する専門家が最先端かつ高度な研究シーズやニーズを交換する日本最大の場」。この唯一無二の価値を高め、更なる魅力的な『場』へと進化。『場』の活性化により、学会活動への参加を通じた学会員の成長にも貢献。
- 『場』の魅力向上・活性化は一朝一夕には成しえない。
 - 本部・部門・支部が電気学会ならではの価値を高める少しの工夫を積み重ね、『場』をブラッシュアップ。
- 『場』の魅力向上・活性化には、学会員ニーズへの対応が必要。部門・支部等へのヒアリングや学会員アンケート等から、学会サービスのDXニーズの高さを把握。
 - オンライン上の利便性向上やコンテンツ充実による『場』の魅力向上・活性化を推進。



【本部中期アクションプラン例】

- 論文のバックデータを共有する仕組みの構築
- マイページのコンテンツ充実・操作性向上
- オンライン交流基盤の構築

【部門・支部中期アクションプラン例】

- 支部大会における会員交流機会の増加
- 若手社会人限定のオンライン座談会